

演劇・映画の
専門図書館

松竹大谷図書館ニュースレター

■ No. 270(2020年9月) ■

令和2年9月10日発行

≫≫ お知らせ

クラウドファンディングでの支援募集【第9弾】を開始しました！

公益財団法人松竹大谷図書館は、当館運営費及び所蔵資料のデジタル化と保存のための資金調達を目的とした「[【第9弾】演劇史を紐解く、歌舞伎座の絵本番付と筋書を後世へ。](#)」プロジェクトを、9月8日より「READYFOR」にて開始いたしました。

明治期から戦前までの歌舞伎座の【絵本番付・筋書】を
デジタル化・保存するプロジェクト！

【第9弾】演劇史を紐解く、 歌舞伎座の絵本番付と筋書を後世へ。

- 募集期間 令和2年9月8日(火)～10月28日(水)【50日間】
- 実行者 松竹大谷図書館事務局 武藤祥子
- 目標金額 250万円 図書館の令和2年度運営資金：150万円／
【絵本番付・筋書】のデジタル化・保存容器費用：100万円
- 募集金額 一口 3,000円/5,000円/10,000円/30,000円/50,000円

今回のプロジェクトで取り組むのは、明治22年に初開場した東京歌舞伎座の戦前までの劇場プログラムの、デジタル撮影とアーカイブ構築です。松竹大谷図書館では、明治23年以降の各年代の歌舞伎座のプログラムを保存しています。明治期には、江戸時代の伝統を引き継ぎ、演目を描いた挿絵と配役(役割)が掲載された、木版刷の【絵本番付】が発行されていましたが、印刷技術が発達するにつれて、配役とあらすじが掲載された活版印刷の【筋書】も発行されるようになりました。さらに大正期に入ると、【筋書】には出演俳優の写真や談話などの読み物が掲載されるようになり、情報量が増えていきます。また、化粧品などの商品や、劇場からのお知らせなど様々な広告が掲載された【絵本番付】や【筋書】は、出版当時の社会や世相を反映した生活文化を物語る貴重な資料でもあります。しかし、これらの【絵本番付】や【筋書】は公演の一次資料として、利用頻度も高いため経年劣化も進み、合本の装丁や紙そのものが破損しているものもあります。

今回、【第9弾】プロジェクトでは、ご支援によってこの歌舞伎座の【絵本番付】と【筋書】をデジタル撮影し、原本は保存容器で保存します。そして、デジタル画像は現在公開中の[<芝居番付検索閲覧システム>](#)に統合し、公開可能な画像についてはWeb上で閲覧利用が出来るようにして、日本演劇の研究にさらなる貢献をしたいと考えています。

支援金額に応じて、歌舞伎台本『連獅子』と映画台本『彼岸花』の表紙デザインの当プロジェクト限定文庫本カバーや、所蔵する台本(歌舞伎・映画)のうち、約260タイトルの中から好きな作品を選んでいただき、その台本カバー(台本を保護するための手作りカバー)にお名前を載せる権利、当館所蔵の歌舞伎座明治24[1891]年1月公演の【筋書】の表紙と【絵本番付】の『ふうせんのかたがわ風船乗評判高閣』の挿絵と役割部分をデザインに使用したオリジナル文庫本カバー、松竹大谷図書館見学会(歌舞伎記録映像上映付き)へのご招待など、趣向を凝らしたリターンを設定しています。是非、プロジェクトページをご覧ください、周囲の方にもご紹介いただけますようお願いいたします。また趣旨にご賛同・ご支援いただければ大変有難く存じます。

※松竹大谷図書館は公益財団法人ですが、このプロジェクトへの支援金に関しては、購入型のクラウドファンディングを利用するため、税制の優遇措置は受けられません。

くわしくは、下記のURL または右のQRコードからプロジェクトページをご覧ください。

<https://readyfor.jp/projects/ootanitoshokan9>

★公式 Facebook でも情報発信しております！

<https://www.facebook.com/Shochikuotanitoshokan/>



明治24年の歌舞伎座の【絵本番付】
左)6月挿絵・配役、右)3月表紙



左)「映画台本」文庫本カバー
右)「歌舞伎台本」文庫本カバー
※大きい方は本物の台本
文庫本カバーは見本

第 83 回所蔵資料展示 『勸進帳』百八十年』展

展示期間:2020/8/31~10/28 / 於 閲覧室



今回の展示は、『勸進帳』百八十年』展です。数ある歌舞伎の演目の中でも、人気があり、また上演回数も多いのが『勸進帳』ではないでしょうか。その『勸進帳』が、1840(天保 11)年に初演されてから、今年は 180 年にあたります。

題材となっているのは、『義経記』などにある、源義経一行が鎌倉方の追討を逃れ、奥州平泉へ落ち延びる話をもとにした能『安宅』ですが、七代目市川團十郎はこの『安宅』から題材だけでなく、能の様式も取り入れて、歌舞伎の『勸進帳』として上演しました。圧倒的な人数の山伏が、富樫主従に迫り、安宅の関を突破していく『安宅』に対して、歌舞伎では武蔵坊弁慶と富樫の知略を尽くした駆け引きと緊張感の中に、互いの立場と心を思いやるドラマが生まれ、終幕、弁慶が飛び六法で義経一行を追っていくまで、息をもつかせぬ展開となっています。

七代目團十郎の息子で、若くして亡くなった八代目團十郎のあと、市川宗家を継いだ九代目團十郎は、この『勸進帳』を生涯で 20 回ほど上演し、1887(明治 20)年 4 月に井上馨邸で上演された天覧歌舞伎でも披露しました。絶品とされた九代目の弁慶を、その逝去後に継承していったのは、二代目市川段四郎、七代目松本幸四郎、十五代目市村羽左衛門、六代目尾上菊五郎などといった九代目團十郎の弟子たちと、その子孫でした。七代目幸四郎は当たり役として生涯に 1600 回以上も再演を重ね、その三人の息子たち、十一代目市川團十郎、八代目松本幸四郎(後の初代松本白鸚)、二代目尾上松緑、さらにその息子たちと、“弁慶役者”と言われる俳優が各世代に現れます。

そのドラマ性と“弁慶役者”の魅力から、時代を超えて観客をひきつけてやまない『勸進帳』。当館では、スチール写真、プログラム、台本その他、数多くの『勸進帳』の資料を所蔵しておりますが、今回の展示では、『勸進帳』のスチール写真を中心に、“武蔵坊弁慶”の雄姿をご覧ください。

【展示資料一覧】《ケース上段 ※すべてスチール写真》能『安宅[金剛流]』[上演年月劇場不明] 中央:弁慶(豊嶋訓三)/1890(明治 23)年 5 月新富座 弁慶(9 代目市川團十郎)/1899(明治 32)年 4 月歌舞伎座 弁慶(9 代目市川團十郎)/[上演年月劇場不明]弁慶(15 代目市村羽左衛門)、義経(5 代目中村歌右衛門)/1930(昭和 5)年 1 月歌舞伎座 義経(7 代目澤村宗十郎)、弁慶(7 代目松本幸四郎)、富樫(15 代目市村羽左衛門)/1917(大正 6)年 11 月帝国劇場 弁慶(7 代目松本幸四郎)/1941(昭和 16)年 3 月歌舞伎座 義経(12 代目片岡仁左衛門)、弁慶(7 代目松本幸四郎)、富樫(15 代目市村羽左衛門)/1941(昭和 16)年 3 月明治座 義経(6 代目市川寿美蔵=3 代目市川寿海)、弁慶(2 代目市川猿之助=初代市川猿翁)、富樫(7 代目澤村宗十郎)/1941(昭和 16)年 3 月歌舞伎座 弁慶(7 代目松本幸四郎)、義経(12 代目片岡仁左衛門)、亀井六郎(7 代目市村家橘=16 代目市村羽左衛門)、片岡八郎(9 代目市川海老蔵=11 代目市川團十郎)、伊勢三郎(5 代目市川染五郎=初代松本白鸚)、駿河次郎(2 代目尾上松緑)、増尾十郎(2 代目市村又三郎=2 代目市村吉五郎)、常陸坊海尊(4 代目市川九蔵=8 代目市川團蔵)/《ケース下段》1965(昭和 40)年 3 月歌舞伎座プログラム「七世松本幸四郎追善」七世松本幸四郎の息子三兄弟が弁慶と富樫を日替わりで演じた。スチール写真:弁慶(11 代目市川團十郎)、弁慶(8 代目松本幸四郎=初代松本白鸚)、弁慶(2 代目尾上松緑)/スチール写真:1978(昭和 53)年 5 月歌舞伎座 弁慶(10 代目市川海老蔵=12 代目市川團十郎)/2013(平成 25)年 1 月浅草公会堂 弁慶(11 代目市川海老蔵)/1983(昭和 58)年 2 月新橋演舞場 左より:亀井六郎(8 代目大谷友右衛門)、弁慶(2 代目中村吉右衛門)、富樫(9 代目松本幸四郎=2 代目松本白鸚)/1972(昭和 47)年 10 月歌舞伎座 義経(10 代目市川海老蔵=12 代目市川團十郎)、弁慶(初代尾上辰之助)、富樫(2 代目中村吉右衛門)/1987(昭和 62)年 2 月歌舞伎座 弁慶(片岡孝夫=15 代目片岡仁左衛門)/1983(昭和 58)年 2 月新橋演舞場 弁慶(2 代目中村吉右衛門)/1979(昭和 54)年 6 月新橋演舞場 弁慶(5 代目中村富十郎)/1979(昭和 54)年 6 月新橋演舞場 弁慶(3 代目實川延若)/1991(平成 3)年 1 月歌舞伎座 弁慶(17 代目市村羽左衛門)/1998(平成 10)年 1 月浅草公会堂 義経(5 代目尾上菊五郎)、弁慶(2 代目尾上辰之助=4 代目尾上松緑)、富樫(7 代目市川新之助=11 代目市川海老蔵)/プログラム「名作歌舞伎映画祭」1976(昭和 51)年 11 月 26・27 日歌舞伎座(主催:松竹大谷図書館)/プログラム「訪仏歌舞伎、パリ・オペラ座松竹大歌舞伎公演」2007(平成 19)年 3 月 23-30 日

※現在、入館は予約制となっております。展示をご覧になる場合も、ご予約の上ご来館下さい。

松竹大谷図書館 03(5550)1694(平日 10 時~16 時)

まちかど展示館「期間限定スタンプラリー」開催中です！

当館に常設している「中央区まちかど展示館」のオリジナルスタンプですが、9 月 1 日から、専用のシートでエリア別に 1 個以上のスタンプを合計 3 個集めて応募すると、抽選で素敵な景品が当たる「期間限定スタンプラリー」が始まりました！各館のスタンプは、それぞれの展示館の特徴を活かしたとても素敵なデザインです。今回新たに認定された展示館も参加していますので、ぜひこの機会に集めてみてください。ラリーシートは各館で配布、また、まちかど展示館の Web ページからもダウンロードができます。

● https://chuoku-machikadotenjikan.jp/pdf/stamprally_summer2020.pdf

中央区まちかど展示館「期間限定スタンプラリー」2020 年 9/1(火)~9/30(水)

● https://chuoku-machikadotenjikan.jp/stamprally_summer2020.html

※各館でそれぞれ休館日やご利用方法の条件が異なりますので、ご注意下さい。

当館では、スタンプは入口を入ってすぐの所に設置してあります。アルコール消毒液を設置していますので、手指の消毒をお願い致します。現在、閲覧室のご利用は前日までのご予約制でお願いしておりますが、スタンプラリーのみのご利用はご予約不要です。



『課題解決のための専門図書館ガイドブック』が発行されました！

当館がお手伝いをしている専門図書館協議会私立図書館小委員会が編集した、一般公開している全国の専門図書館 171 館のガイドブックです。

分類別に掲載されていて、巻末にテーマから探せるキーワード索引も付いているので、調査をしたい内容にぴったりの専門図書館が探せます。専門図書館のスタッフへのインタビュー記事や、レファレンス事例などコラム頁も充実しています。当館のレファレンス事例も載っています！

詳細はこちら https://www.d-kobo.jp/shop/products/detail.php?product_id=36



》》資料をご寄贈くださった方々 (敬称略・順不同/2020年2月-7月) ※許可を得た方のみ掲載しております

松竹株式会社、演劇出版社、国立劇場、文学座、株式会社日本舞踊社、キネマ旬報社、独立行政法人日本芸術文化振興会 (国立劇場)、北村文和、銀座 博品館劇場、シアタークリエ、樽松大剛、歌舞伎学会、一般社団法人日本民間放送連盟、劇団銅鑼、川崎哲男、若林さだ吉、二兎社、劇団民藝、株式会社カモミール社テアトロ編集部、博多座、デアゴスティーニ・ジャパン、有限会社合同通信社、公益社団法人日本照明家協会、人形劇団ブーク、誠文堂新光社、公益財団法人 劇場演出空間技術協会、(株)近代映画社、玉川大学出版部、(公財)関西・大阪 21 世紀協会上方文化芸能運営委員会、国立歴史民俗博物館、御園座演劇図書館、おとなのデジタル TV ナビ編集部、邦楽の友社、おもだか会、(公社)日本舞踊協会、特定非常利活動法人 国際人形劇連盟日本センター、協同組合 日本映画撮影監督協会、愛知芸術文化センター、銀座百店会、日本劇作家協会、劇団俳優座、株式会社 OSK 日本歌劇団、株式会社東急文化村、株式会社ホリプロ、シーエイティプロデュース、劇団黒テント、藤澤佐織、丸善出版株式会社、一般社団法人日本動画協会『アニメ NEXT_100』プロジェクト、北翔大学北方圏学術情報センター、こまつ座、シナリオ・センター、(株)マルヨンプロダクション「シナリオ」編集部、丹野達弥、早稲田大学映画学研究会、明治学院大学大学院文学研究科芸術学専攻、株式会社パルコ、流山児★事務所、公益社団法人日本劇団協議会、ワイズ出版、東宝株式会社映像事業部、OMS 戯曲賞事務局、一般社団法人日本演出者協会、小豆島農村歌舞伎調査委員会、無声映画鑑賞会、早稲田大学演劇博物館、安孫子正、株式会社セクターエイティエイト KENSYO 編集部、日本映画テレビプロデューサー協会、古井戸秀夫、公益社団法人 企業メセナ協議会、明治大学唐十郎アーカイヴ、沖縄県平和祈念資料館、アンドレ・バザン研究会、黒澤明研究会会誌、神奈川県演劇連盟、東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館、日本アカデミー賞協会、神戸女子大学古典芸能研究センター、公益社団法人 国際演劇協会、常磐津節保存会 会長 常磐津文字太夫、公益財団法人日本近代文学館、東京都江戸東京博物館、三越劇場、玉川大学教育博物館、平田佑子、京都芸術大学 舞台芸術研究センター、一般社団法人伝統歌舞伎保存会、博物館明治村、株式会社白桃書房、ミュージカルカンパニー イッツフォーリーズ、(有)沢竜二事務所 沢竜二、一般社団法人関西常磐津協会、山本一郎、常磐津節保存会、鷹取洋二、国立映画アーカイブ、金子薫、一般財団法人映画倫理機構、岩波ホール、明治学院大学図書館、劇団青年座
どうもありがとうございました

》 新着資料案内 新しく受入れた資料をご案内いたします

■ 松竹系6-8月演劇公演資料 ■

○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『連獅子』		○	○	○
	『棒しばり』		○		
	『義経千本桜 吉野山』		○		
	『与話情浮名横櫛 源氏店』	○	○		
南座	南座 夏の舞台体験ツアー				○
松竹座 (配信)	『Johnny`s DREAM IsLAND2020→2025 大好きなこの街から』				
東京建物Brillia Hall (配信)	超歌舞伎『夏祭版 今昔饗宴千本桜』	○			
(配信)	図夢歌舞伎『忠臣蔵』	○			

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 他社演劇公演資料 (2-8月) ■ (順不同)

『花火の陰』三越劇場プログラム/風男塾ミュージカル『Believe 遙かなるプロキオン』博品館劇場プログラム/『グッバイ・チャーリー』博品館劇場プログラム/『リトル・ショップ・オブ・ホラーズ』シアタークリエプログラム/イッツフォーリーズ『ミュージカル ナミヤ雑貨店の奇蹟』俳優座劇場プログラム、台本/劇団四季『マンマ・ミーア!』神奈川芸術劇場プログラム/『ミュージカル「ジャージー・ボーイズ」インコンサート』帝国劇場プログラム/『Endless SHOCK』帝国劇場プログラム/東宝+アミューズ『ホイッスル・ダウン・ザ・ウィンド 汚れなき瞳』日生劇場プログラム/『天保十二年のシェイクスピア』日生劇場プログラム/『願いがかなうぐつぐつカクテル』新国立劇場プログラム/atlas『BLUE RAIN』博品館劇場プログラム/せたがや文化財団『殺意 ストリップショウ』シアタートラムプログラム/カムカムミニキーナ『猿女のリレー』座・高円寺1プログラム/第14回シアターX 国際芸術祭 2020『蟲愛づる姫と BIOhistory=生きものの物語』シアターXプログラム/東京マハロ『彼の名はレオナルド』赤坂 RED/THEATER プログラム/『通し狂言 義経千本桜』国立劇場大劇場プログラム、台本/『第158回文楽公演』国立文楽劇場プログラム、床本/宝塚歌劇月組『赤と黒』御園座プログラム/『吉幾三特別公演』御園座プログラム

■ 映画資料 ■

○ …… 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『弱 虫 ペ ダ ル』	○		○		
『劇場版ウルトラマンタイガ ニュージェネクライマックス』	○	○	○		
『事故物件 怖い間取り』	○	○	○		

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 映画プログラム ■ (順不同)

『ぐらんぶる』『ハニーボーイ』『ポルトガル、夏の終わり』『ファナティック ハリウッドの狂愛者』『コンフィデンスマン JP プリンセス編』『透明人間』『バルーン 奇蹟の脱出飛行』『カセットテープ・ダイアリーズ』『一度も撃ってません』『今日から俺は!! 劇場版』『思い、思われ、ふり、ふられ』『糸』『ジョーンの秘密』『オフィシャル・シークレット』『映画ドラえもん のび太の新恐竜』『青くて痛くて脆い』『2分の1の魔法』

■ 演劇雑誌 ■

『AAC』Vol.105/『Confetti』2020年SEPTEMBER/『DRAMA かながわ』80号/『TICKETS GO!GO!』Vol.105/『あぜくら』2020年8月号/『ほうおう』2020年9月号,10月号/『ジョイン』No.97/『ステージぴあ』2020年7+8月号/『テアトロ』2020年9月号/『ラ・アルプ』2020年9月号/『演劇界』2020年10月号/『喝采』2020年9月,10月/『御園座演劇図書館 Newsletter』Vol.29/『国立演芸場公演ガイド』令和2年9月号/『神戸女子大学古典芸能研究センター紀要』14号/『大向う』令和2年8月号,9月号/『長唄』127号/『日本芸術文化振興会ニュース』2020年9月号/『日本舞踊』72巻9月号/『邦楽の友』令和2年9月号

■ 映画雑誌 ■

『FLIX』2020年10月号/『SCREEN』2020年10月号/『TVガイド』2020年7/31号,8/7号,8/14号,8/21号,8/28号,9/4号/『おとなのデジタルTVナビ』2020年10月号/『キネマ旬報』2020年9月上旬号,9月下旬号,増刊キネマ旬報 dig/『シナリオ』2020年10月号/『シナリオ教室』2020年9月号/『ドラマ』2020年9月号/『ピクトアップ』2020年8月号,10月号/『映画テレビ技術』2020年9月号/『映画芸術』472号/『映画時報』2020年盛夏号/『映画秘宝』2020年9月号,10月号/『黒澤明研究会誌』43号/『友 Iwanami Hall』No.394

■ 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い ■

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ持続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 現在ご支援いただいている方々 (了承を得た方のみ掲載) 2020(令和2)年8月にご支援いただきました法人・団体 (50音順・敬称略)

- | | |
|--------------|---------------------|
| 株式会社歌舞伎座 | 株式会社松竹映像センター |
| 歌舞伎座サービス株式会社 | 松竹音楽出版株式会社 |
| 歌舞伎座舞台株式会社 | 松竹芸能株式会社 |
| 有限会社合同通信社 | 株式会社松竹サービスネットワーク |
| 松竹株式会社 | 松竹ブロードキャスティング株式会社 |
| 松竹衣裳株式会社 | 株式会社松竹マルチプレックスシアターズ |

どうもありがとうございます

■■■■ 松竹大谷図書館は予約制での開館を継続しております ■■■■

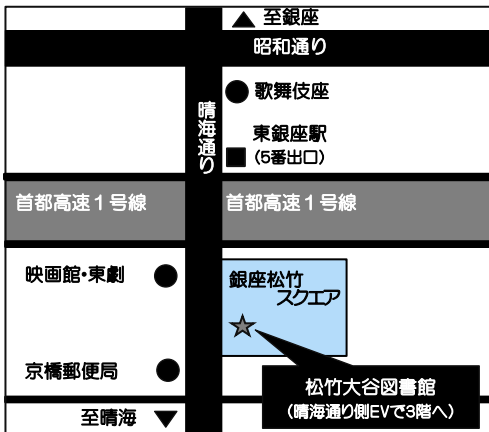
当館は6月1日(月)より、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご来館は「予約制」とさせて頂いております。

《ご利用について》 ●開館時間:平日 10:00~16:00(短縮しております)

●ご来館前日までにお電話でのご予約をお願い致します

Tel:03(5550)1694(平日 10:00~16:00)

今後、開館日時やご利用方法につきましては、状況の変化にともない変更の可能性があります。随時お電話での確認や、当館のHP、Facebookの更新をご確認下さい。ご理解ご協力の程、よろしく願い申し上げます。



編集・発行:公益財団法人 松竹大谷図書館

〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3階 / Tel. 03-5550-1694

公式HP ● <http://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>

公式Facebook ● <https://www.facebook.com/Shochikuotanitoshokan/>

●利用案内●

【開館時間】平日午前10時~午後4時(短縮しております) / 【休館日】土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期・夏期特別整理期間※その他、臨時休館のある場合は一ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します / 【閲覧】館内閲覧のみ / 【入館料】無料 / 【コピーサービス】A4 1枚 白黒50円・カラー150円・B4 1枚 白黒100円・カラー300円 量が多い場合は翌開館日渡し、または郵送(送料は申込者負担) 但し、コピー不可の資料もあります

●資料検索●

<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>

●交通案内●

東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分

東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分

